

第9回 野田市生物多様性のだ戦略市民会議

日時 令和4年12月6日（火）

午後2時から午後4時

場所 野田市役所8階 大会議室

会 議 次 第

1 開会

2 会長挨拶

3 議題

議案第1号 第8回市民会議での意見をふまえた素案の修正等について【資料1】

議案第2号 第2期戦略（素案）について【資料2】

4 その他（今後のスケジュールについて）【資料3】

5 閉会

【配付資料】

資料1 第8回市民会議での意見をふまえた素案の修正等について

資料2 第2期戦略（素案）

資料3 今後のスケジュールについて

別添資料1 事業一覧シート（各施策の現状と今後の取組）

別添資料2 生物多様性の保全に取り組むボランティアの育成について
～持続可能なボランティア制度の仕組みづくり～

議案第 1 号 第 8 回市民会議での意見をふまえた素案の修正等について

10 月 24 日に開催された第 8 回市民会議で、生物多様性のだ戦略（素案）第 3 章（2）第 2 期戦略の計画期間・目標・指標まで、ご承認をいただきましたが、会議の中で、いただいたご意見をふまえ、次の通り修正等を行いました。

第 1 章 第 2 期戦略の基本的な考え方

ページ	素案への意見	意見への対応（案）
3	「生態系の多様性」の説明の中で、野田市の河川についての記載があった方が良いのではないか	生態系の多様性において、河川も、多くの生きものが暮らす場所であることが分かるように追記しました
5	生物多様性に関する世界や国内の動きについて、もう少しわかりやすい記述が良いのではないか ・愛知目標が 2020 年に策定されたかのよう読み取れる ・30by30 の説明で「陸域と海域の少なくとも 30%を保全する」とあるが、もう少し詳細な説明が必要 ・「流域治水関連法」という見出しに工夫が必要 ・流域治水に向けてグリーンインフラをどう活用するか、もう少し書き込んだほうが意味が伝わりやすい	ご意見を踏まえて素案を修正しました 素案の下線部分が修正箇所となります

第 2 章 野田市の生物多様性の現状

ページ	素案への意見	意見への対応（案）
14～19	自然環境調査結果の概要について、表記の方法を工夫してほしい ・2 つの表は同じページにまとめた方が見やすい ・歴史調査について、私たちの目の前にある自然は、長い歴史において、人の営みと深いかかわりの中で育まれてきたものであることを改めて知ることができました。という文章のまとめ方にあった記載を工夫してほしい	15 ページに表をまとめました 歴史調査について、前回の会議では配布していない資料編でそれぞれの時代の詳細を取り上げていますので素案をご確認ください

第3章 第2期戦略の目標・方針・施策

第8回市民会議では、(2) 第2期戦略の計画期間・目標・指標までを審議しました。

ページ	素案への意見	意見への対応（案）
24	4つの基本方針にある自然を「まもる」という言葉は、幅広い意味があるので、適切でない解釈にならないよう工夫した方がよい ※会議の中で、「まもる」という記載について、多くのご意見をいただきました。詳細は第8回会議録のとおりです	「まもる」という言葉は、人間も含め生きものが暮らす自然環境を大切にするという意味で記載しています ご意見をふまえ、「まもる」という言葉に対する補足説明を追記しました

第8回市民会議終了後、23 ページに記載した「野田市がめざす将来像」について、ご意見をいただきました。将来像は、戦略の中心ですので、意見への対応（案）について、下記の内容をご確認ください。

【23 ページに記載している将来像】

野田市がめざす将来像

私たちの暮らしを支えるみどりと生きものがつながるまち
～コウノトリもすすめる自然なノダ～

素案への意見
将来像について言葉をかけているのはわかるが、カタカナで「ノダ」と表現することに違和感があるので、皆様はどう感じているか伺いたい。
意見への対応
事務局としても、野田市民が一番ふれている野田市広報誌が「市報のだ」であることから、カタカナよりひらがなの方が、なじみがあると感じました。 今回の戦略は、皆様にわかりやすく伝えるために、4つの基本方針もひらがなを使用しています。 つきましては、素案の記載を次のとおり修正しますので、ご確認ください。

【将来像修正案】

野田市がめざす将来像

私たちの暮らしを支えるみどりと生きものがつながるまち
．．
～コウノトリもすすめる自然なのだ～